SD/USB Recorder

DN-500R

Quick Start Guide
Kurzinstallationsanleitung
Guide de configuration rapide
Guida rapida all’installazione
Guía de configuración rápida
Snabbinstallationsguide
クイックスタートガイド

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

安全アースは必ず接地する

本機は安全アースを接続してご使用頂けるように設計しています。電源プラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ（3P → 2P）を使用してコンセントに差し込んでください。その場合は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

アース線を取り外すときは

必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。移動の際は、本機に衝撃を与えないでください。

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ようこそ

本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書では、簡易的な操作方法について説明します。
詳細方法については、本製品の取扱説明書をご参照ください。

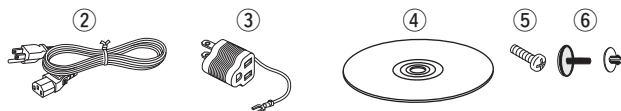
お困りのときは：

当社営業部または下記 HP にてお問い合わせ下さい。
http://www.d-mpro.com

お使いになる前に

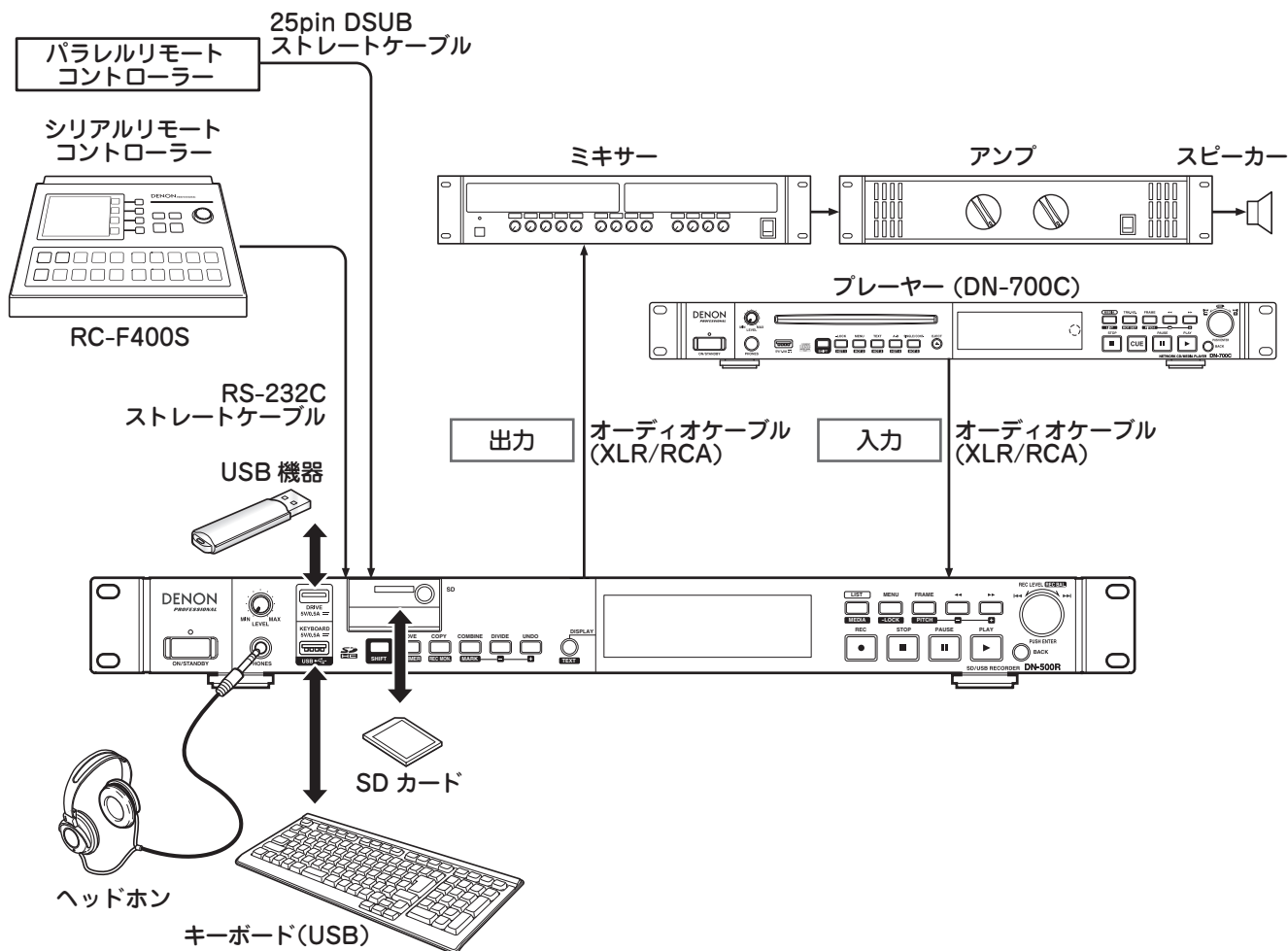
付属品を確認する

① クイックスタートガイド 1
② 電源コード（本機専用） 1
③ 電源プラグ変換アダプター（3ピン→2ピン） 1
④ CD-ROM 1
- DN-500R 取扱説明書
- DMP Mark Editor インストーラー
- DMP Mark Editor 取扱説明書

⑤ SDカードドア用セキュリティねじ 2
⑥ プラスチックピンとリテーナー 各1
（お買い上げ時は SD カードドアに取り付けています。）

お客様にご用意頂くもの

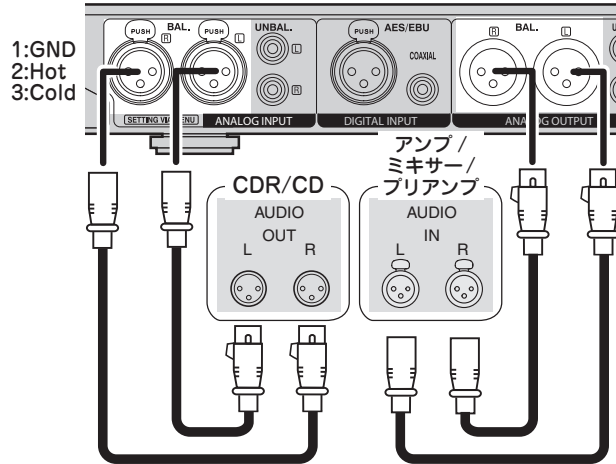
- SD カード
- USB メモリー
- ヘッドホン
- キーボード（USB）
- オーディオケーブル (XLR/RCA)
- シリアルリモートコントローラー
（RS-232C ストレートケーブル ）
- パラレルリモートコントローラー
（25pin DSUB ストレートケーブル ）
- ラックマウント用ネジ

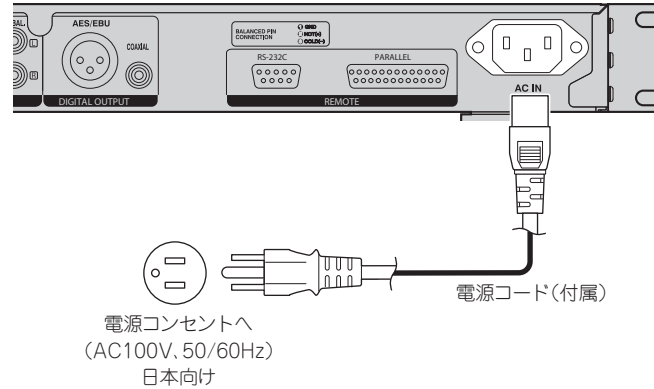
システム接続図例

パラレルリモートコントローラー
25pin DSUB ストレートケーブル
シリアルリモートコントローラー
RC-F400S
RS-232C ストレートケーブル
USB 機器
ミキサー
アンプ
スピーカー
プレーヤー (DN-700C)
出力
オーディオケーブル (XLR/RCA)
入力
オーディオケーブル (XLR/RCA)
SD カード
ヘッドホン
キーボード（USB）

周辺機器を接続する

❑アナログで接続する

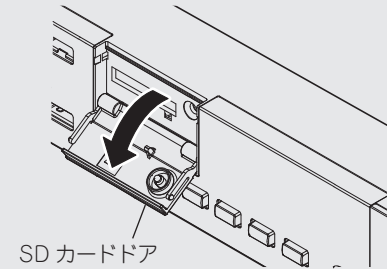
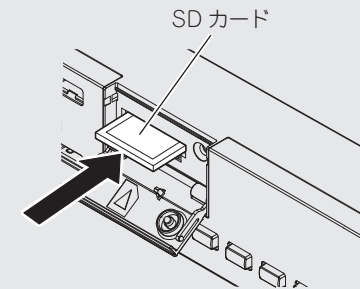
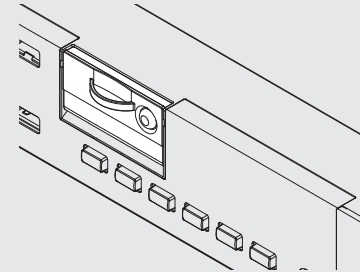
アナログ接続（バランス接続）

アナログ入出力（バランス）端子にラインレベルのアナログ入力または出力を接続します。

電源コードの接続

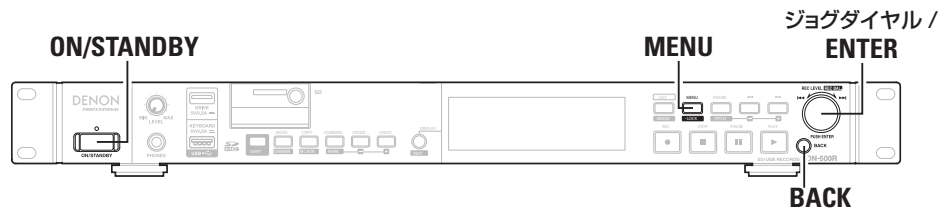
すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。電源プラグが直接コンセントに差し込めない場合は、付属の電源プラグ変換アダプター（3P → 2P）を使用してください。
その場合、必ず安全アースを接地してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、誤動作や雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外のコードを使用しないでください。

SD カードを装着する

1 SD カードドアを矢印方向に開く。

2 SD カードスロットに SD カードを“カチッ”と音がするまで奥に差し込む。

3 SD カードドアを閉じる。

- SD カードドアがカチッと閉まらないときは、SD カードが奥まで正しく差し込まれているかを確認してください。

録音の準備をする（Utility）

ご使用前に必ず時計を設定してください。
SD カードに録音する場合は、あらかじめ本機で SD カードのフォーマットを行ってください。

❏Utility を選択する

1 **ON/STANDBY を押す。**
本機の電源がオンになり、ディスプレイが点灯します。

2 **停止中に MENU を押す。**
メニュー一覧を表示します。

3 **ジョグダイヤルを回して“Utility”を選び、ENTER を押す。**

❏Time/Date

• 録音やタイマー再生に使用する現在時刻を設定します。設定した時間は録音ファイル名として使用するため、使用する前には必ず設定してください。

1 **“Utility” を選んでから ジョグダイヤルを回して“Date/Time” を選び、ENTER を押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して入力する位置（年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選び、ENTER を押す。**

Date/Time
Date:May/13/2013
Time:11:54
T
</>:<</>> Change:JOG Push

3 **ジョグダイヤルを回して設定値を選び、ENTER を押す。**

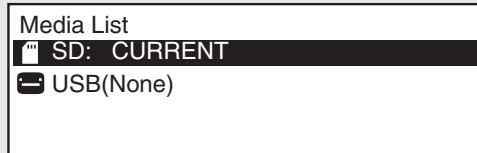
4 **設定が終了したら BACK を押す。**
“Return?” および、“Fix” と “Discard” を表示します。

5 **ジョグダイヤルを回して“Fix”を選び、ENTER を押す。**
設定を確定します。

• “Discard” を選択すると、設定を破棄します。

❏Format Media

現在のメディア（SD）をフォーマットします。

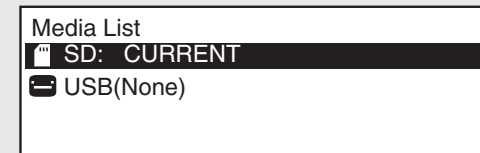
1 **“Utility” を選んでからジョグダイヤルを回して“Format Media” を選び、ENTER を押す。**
メディアリストを表示します。

2 **ジョグダイヤルを回してメディアを選び、ENTER を押す。**

3 **ジョグダイヤルで“OK”を選び、ENTER を押す。**
フォーマット中は“Formatting”を表示し、完了すると“Completed”を表示します。

当社にて動作を確認済みの SD カードは、当社ホームページ (URL: http://www.d-mpro.com) でご確認ください。

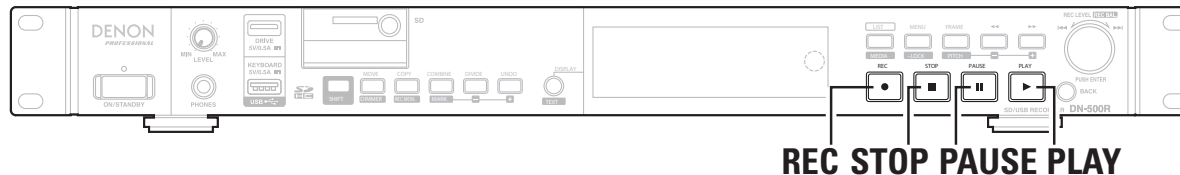
❏Speed Check

現在使用中のメディア（SD）の書き込みおよび読み出しのスピードをチェックします。
使用するメディアは必ず、スピードチェックをしてから使用してください。

1 **“Utility” を選んでからジョグダイヤルを回して、”Speed Check” を選び、ENTER を押す。**
メディアリストを表示します。

2 **ジョグダイヤルを回してメディアを選び、ENTER を押す。**

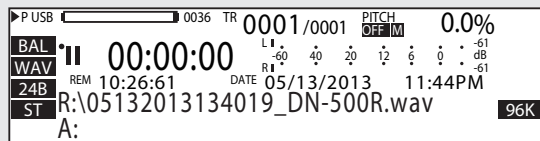
3 **ジョグダイヤルで“OK”を選び、ENTER を押す。**
メディアのチェックを開始し、“Check Speed…”を表示します。

- スピードのチェックが完了すると、次のような結果を表示します。
  “Good”：チェックしたメディアは使用に適しています。
  “Good w/o Rec Mon”：チェックしたメディアは、単なる録音には適していますが、録音モニターには適していません。
  ”Poor”：チェックしたメディアは使用に適していません。

4 **“OK”を選び、ENTER を押す。**

録音する

1 **REC を押す。**
録音待機状態になり、**REC** が点滅し **PAUSE** が点灯します。
表示が録音表示に切り替わります。

2 **録音レベルと録音バランスを調節する。**

3 **REC を押す。**
録音を開始します。

❏ ファイル名
録音を開始したファイルのファイル名はマシンネーム、録音開始時間、ユーザーエリアデータから構成されます。これらの作成フォーマットは、“System Setting” の“05 File Name Form” で選択できます。（録音開始後、録音開始時間が確定するまで、ファイル名の録音開始時間は進み続けます。）

4 **STOP を押す。**
録音を停止して、**REC** が消灯します。

お買い上げ時の設定

本機のお買い上げ時の主な設定は次のとおりです。

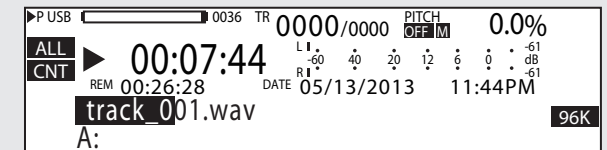
設定の変更のしかたは取扱説明書をご覧ください。

[Preset setting]	
One Touch Rec	Off
Audio Input	Bal
Rec Format	MP3-128
Rec Channel	Stereo
Sample Rate	44.1k
Silent Skip	Off
Play Range	Folder
Play Mode	Continuous

[System setting]	
Rec Folder	Current
Signal Pass Thru	On
Output Rate	Auto
Line/Mic Lch	Line
Line/Mic Rch	Line
Serial Bit Rate	9600

RC-F400S をお使いになる場合、System setting の次の項目の変更が必要です。設定の変更のしかたは取扱説明書をご覧ください。
- Serial Bit Rate : 9600（お買い上げ時）➔ 38400

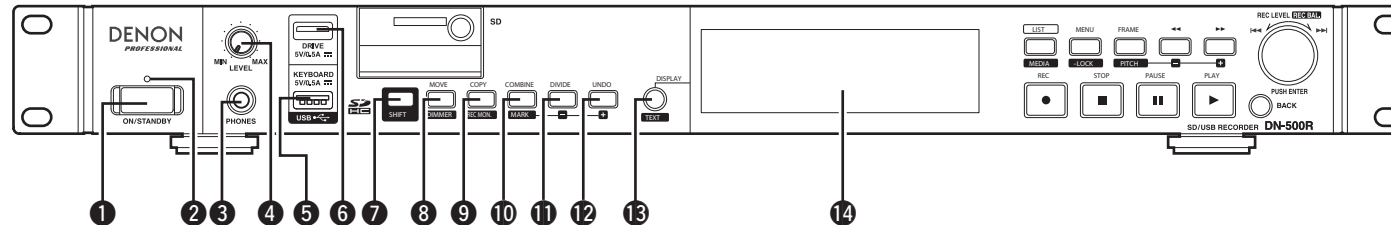
録音したファイルを再生する

1 **PLAY を押す。**
PLAY が点灯して、再生を始めます。

2 **❏ 再生を一時的に停止する場合**
再生中に PAUSE を押す。
再生が一時停止して、**PAUSE** が点灯します。

- **PLAY** を押すと、再生を再開します。

3 **❏ 再生を停止する場合**
STOP を押す。
再生を停止して、**PLAY** が消灯します。

各部の名前とはたらき

フロントパネル

❶電源スイッチ（ON/STANDBY）
- 電源をオンまたはスタンバイにします。

❷電源表示
- 電源オン：緑色
- 通常のスタンバイ時：赤色

❸ヘッドホン端子（PHONES）
- ヘッドホンを接続します。

❹ヘッドホン音量調節つまみ（LEVEL）
- ヘッドホンの音量を調節します。
- つまみを押すとつまみがとび出します。調節が終わったらつまみを押し込んでください。音量調節後の誤動作を防げます。

❺キーボード用USB端子（KEYBOARD）
- USB キーボードを接続します。

❻USB機器用USB端子（DRIVE）
- USB 機器を接続します。

❼SHIFTボタン
- 各ボタンの下に表示してあるシフトモードを選択します。
- **SHIFT** ボタン点灯時にシフトモードが有効になります。

❽MOVE/DIMMERボタン
- 現在のトラックのファイルを移動します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、ディスプレイと LED の表示の明るさを切り替えます。
- 減光時の明るさは、"Preset Setting" の "36 Display Dimmer" と"37 LED Dimmer"で設定できます。

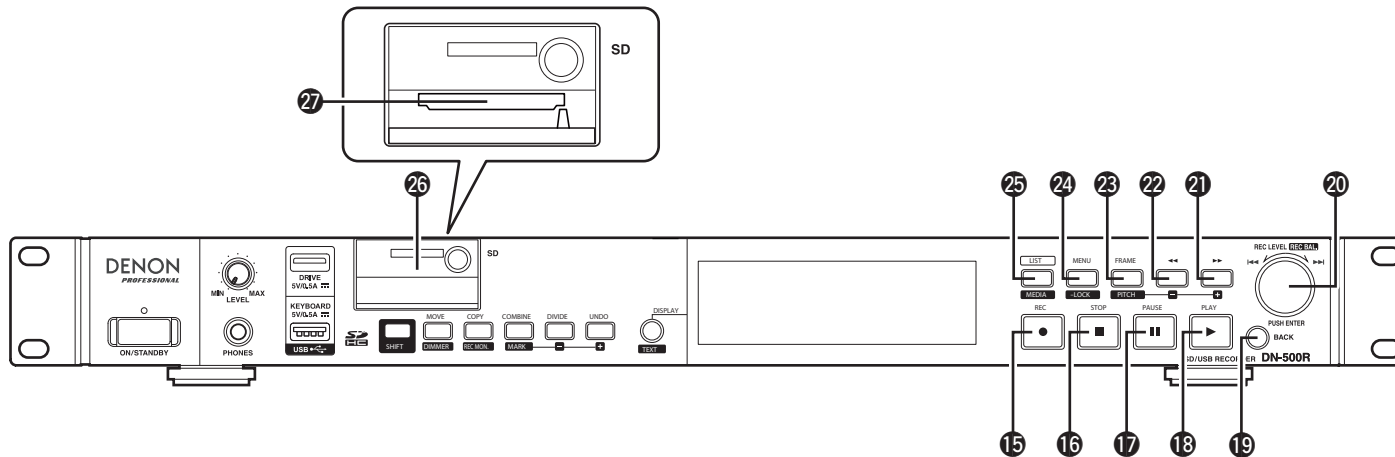
❾COPY/REC MON.ボタン
- 選択したトラックのファイルをコピーします。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、録音モニターのオン / オフを切り替えます。

❿COMBINE/MARKボタン
- 選択したトラックと他のトラックを結合します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、現在の再生もしくは録音位置にマークを追加します。

⓫DIVIDE/MARK －ボタン
- 現在選択中のトラックを現在の再生位置で分割します。
- 現在の録音位置で録音トラックを分割します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、現在の再生位置よりも前にあるマークにジャンプします。

⓬UNDO/MARK ＋ボタン
- 直前の編集を取り消します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、現在の再生位置よりも後ろにあるマークにジャンプします。

⓭DISPLAY/TEXTボタン
- 画面を切り替えます。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、テキスト表示をスクロールします。

⓮ディスプレイ

⑮RECボタン（●）
- "Preset Setting" の"08 One Touch Rec" が"Off" のとき、ボタンを一度押すと録音待機になり、再度押すと録音を開始します。
- "Preset Setting" の"08 One Touch Rec" が"On" のとき、ボタンを一度押すと録音を開始します。
- 録音中は REC ボタンが点灯します。
- 録音待機中は REC ボタンが点滅します。

⑯STOPボタン（■）
- 再生中または再生一時停止中にボタンを押すと再生が停止します。"Preset Setting" の"23 Finish Mode" で動作の設定ができます。
- 録音中または録音待機中にボタンを押すと録音を停止し、最後に録音したファイルの先頭で待機します。
- 停止中およびキュー中は STOP ボタンが点灯します。
- キュー中に押すと停止します。

⑰PAUSEボタン（❚❚）
- 再生中または録音中にボタンを押すと再生が一時停止または録音が一時停止します。
- 一時停止中は PAUSE ボタンが点灯します。

⑱PLAYボタン（▶）
- 再生を開始します。
- 再生中または再生一時停止中は PLAY ボタンが点灯します。

⑲BACKボタン
- 1 つ前のメニューに戻ります。
- ファイルリスト表示中は、**SHIFT** ボタン点灯時に押すと、リストのトップへカーソルを移動します。

⑳ジョグダイヤル/PUSH ENTERボタン
- ダイヤルを回すとトラックをスキップします。
- 録音または録音待機中は録音レベルを調節します。
- メニュー表示中はカーソルの移動や設定項目の選択をします。
- **SHIFT** ボタン点灯時にダイヤルを回すと、録音または録音待機中に録音レベルや録音バランスを調節します。
- ボタンを押すと設定項目やメニューを確定します。

㉑早送り/ピッチ +ボタン（▶▶）
- 早送りサーチをします。
- フレームモード時はフレーム単位で順方向にジャンプします。。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、ピッチを設定します。

㉒ 早戻し/ピッチ −ボタン（◀◀）
- 早戻しサーチをします。
- フレームモード時はフレーム単位で逆方向にジャンプします。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、ピッチを設定します。

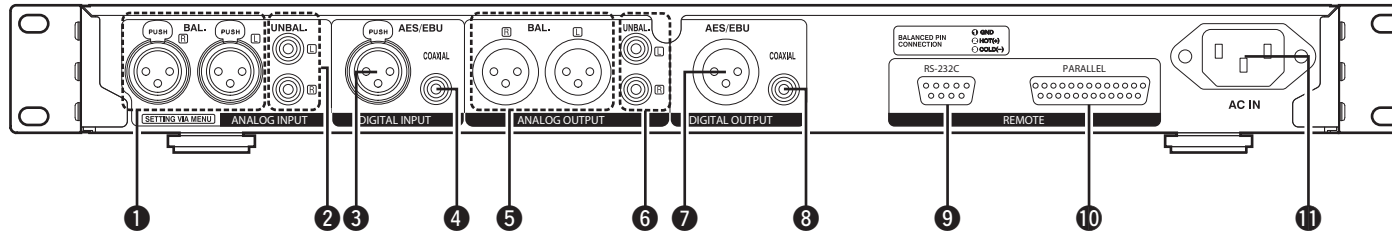
㉓FRAME/PITCHボタン
- ◀◀、▶▶ ボタンの機能をフレームモードまたはサーチモードに切り替えます。
- フレームモード時は FRAME ボタンが点灯します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、ピッチのオン / オフを切り替えます。オン時は **PITCH** ボタンが点灯します。

㉔MENU/LOCKボタン
- メニューを表示します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、本体の操作ボタンをロックします。

㉕LIST/MEDIAボタン
- ファイルリストを表示します。
- **SHIFT** ボタン点灯時に押すと、メディアを切り替えるためのメディアリストを表示します。

㉖SDカードドア

㉗SDカードスロット
- SD/SDHC カード（最大 32GB）を差し込みます。SDXC と UHS には対応していません。

リアパネル

❶ アナログ入力(バランス)端子
- XLR タイプ
- ピン配置 : 1. GND / 2. Hot (w/ Phantom) / 3. Cold
- “System Setting” の“08 Volume Input” でライン入力レベルを可変できます。

❷ アナログ入力(アンバランス)端子
- RCA タイプ

❸ デジタル入力端子(AES/EBU)
- IEC60958 Type I
- ピン配置 : 1. Common / 2. Hot / 3. Cold

❹ デジタル入力端子(COAXIAL)
- IEC60958 Type II

❺ アナログ出力(バランス)端子
- XLR タイプ
- ピン配置 : 1. GND / 2. Hot / 3. Cold

❻ アナログ出力(アンバランス)端子
- RCA タイプ

❼ デジタル出力端子(AES/EBU)
- IEC60958 Type I
- ピン配置 : 1. Common / 2. Hot / 3. Cold

❽ デジタル出力端子(COAXIAL)
- IEC60958 Type II

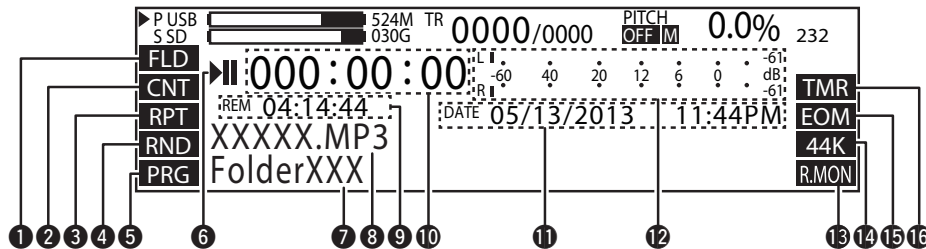
❾ RS232C端子
- 9 ピン D-sub コネクタ (メス)

❿ パラレルポート(PARALLEL)
- 25 ピン D-sub コネクタ (メス)

⓫ ACインレット(AC IN)
- 付属の電源コードを接続します。

ディスプレイ

本機のディスプレイには、本機や各メディアに関するさまざまな情報を表示します。
表示する内容は、本機の動作状態(停止 / 再生 / 録音)によって異なります。

再生 / 一時停止 / サーチ / 停止中の表示

❶ 再生範囲表示
- 現在の再生範囲を表示します。
- “Preset Setting”の“19 Play Range”の設定を表示します。
  FLD: 現在のフォルダー / ALL: 全フォルダー

❷ 再生モード表示
- “Preset Setting”の“20 Play Mode”の設定を表示します。
  CNT: 連続再生 / SGL: 1 曲再生

❸ リピート再生表示
- “Preset Setting”の“24 Repeat”の設定を表示します。
  PRT: リピート再生 On の時に表示します。

❹ ランダム再生表示
- “Preset Setting”の“21 Random”の設定を表示します。
  RND: ランダム再生 On の時に表示します。

❺ プログラム再生表示
- “Preset Setting”の“22 Program”の設定を表示します。
  PRG: プログラム再生 On の時に表示します。

❻ ステータス表示
- 機器の動作状態を表示します。

STOP	■
CUE	CUE
PAUSE	❚❚
AUDIBLE PAUSE	▶❚
SEARCH	◀◀▶▶
PLAY	▶
REC PAUSE	•❚❚
REC	●

❼ フォルダ名
- 選択したフォルダへのパスを表示します。

❽ トラック名
- 選択したトラック名を表示します。

❾ 残り時間表示
- 現在トラックの残り時間を表示します。
- 表示形式は、“Preset Setting”の“33 Time Display”で設定できます。
- 選択したトラックが VBR(Variable Bit Rate)形式のときは、おおよその残り時間を表示します。

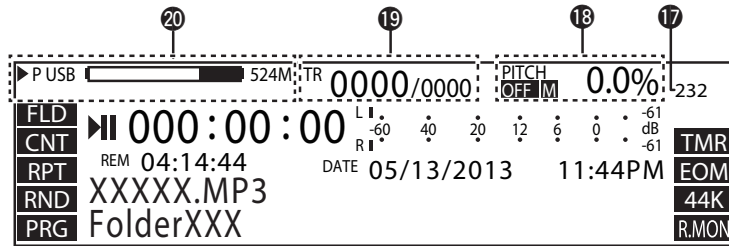
❿ 経過時間表示
- 現在選択されているトラックの再生経過時間を表示します。
- 表示形式は、“Preset Setting”の“33 Time Display”で設定できます。

⓫ 時間/日付表示
- 停止中は、現在日時を表示します。
- 再生中は、選択したトラックの作成日時を表示します。
- 表示形式は、“System Setting”の“14 Time Form”と“15 Date Form”で設定できます。

⓬ 再生レベル表示
- 再生レベルを表示します。
- 3 秒間のピークホールド付きです。

⓭ 録音モニター表示
- 録音モニターの状態を表示します。
  R.MON: 録音モニターがオンの時に表示します。

⓮ サンプリングレート表示
- 音声出力のサンプリングレート(44K/48K/96K)を表示します。
- Ext(AES) の場合で、サンプリングレートが非該当のときは、“EXT”を点滅表示します。“Auto”の場合は表示されません。

⓯ 曲の終了通知表示
- “Preset Setting”の“31 End Of Message”で“Off”以外を設定すると“EOM”を表示します。

⓰ タイマー表示
- “Rec Timer”または“Play Timer”の設定時に“TMR”を表示します。

⓱ リモートシリアル接続表示

- リモートシリアルコマンドの受信中に表示します。

⓲ ピッチ表示

- Pitch 設定を表示します。
- マスターキーがオンの時"M" を表示します。

⓳ トラック番号表示

- 右側は選択したメディアの総トラック数を表示し、左側は選択したトラック番号を表示します。

⓴ メディア表示

- 選択中のメディアのタイプ(SD/USB)と空き容量を表示します。
- 上側には現在選択されているメディアが設定され、先頭に"P"を表示します。
- 下側には、バックアップメディア(デュアル録音)が設定されているときは、先頭に"B" を表示します。セカンダリーメディア(リレー録音)が設定されているときは、先頭に"S"を表示します。
- 下側のメディアが空き容量がないときは、"MEDIA FULL"を表示します。
- 下側のメディアが 2000 トラックに達しているときは、"TRACK FULL" を表示します。
- 下側のメディアが書込み禁止の場合は、"WRITE LOCK"を表示します。
- "▶"は現在選択中のメディアを表します。

プロパティ表示(再生 / 一時停止 / サーチ / 停止中)

❶ Property
❷ 0001 BGM_001.mp3(\Full\Path)
❸ 01/02/2013 10:23:45AM
❹ 44K Mo 320kbps
❺ "Album" , "Title" , "Artist"

❶ タイトル名

❷ トラック番号/ファイル名

- 選択したトラック番号、ファイル名を表示します。
- () 内はファイルが存在するフォルダへのパスを表示します。

❸ 時間/日付表示

- 選択したトラックの作成日時を表示します。
- 表示形式は、"System Setting"の"14 Time Form"と"15 Date Form"で設定できます。

❹ トラック録音情報

- サンプリングレート
- チャネル
- St: ステレオ /Mo: モノラル
- 量子化ビット数またはビットレート

❺ アルバム名

- MP3 のみ ID3 tag 内のアルバム名を表示します。

Title

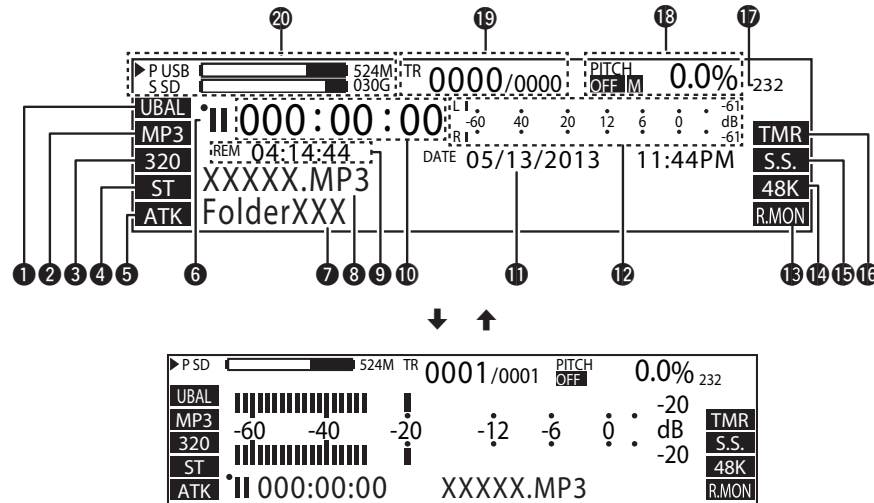
- MP3 のみ ID3 tag 内のタイトル名を表示します。

Artist

- MP3 のみ ID3 tag 内のアーティスト名を表示します。

テキスト情報が収まりきらない場合は、シフトモードで **TEXT** を押すと一度スクロールして表示します。

録音中、録音待機中の表示

• **DISPLAY** でレベルメーターを大型化した表示に切り替えることができます。

❶ 録音入力表示

- 現在の"Preset Setting"の "09 Audio Input"を表示します。
- UBAL: Unbalanced /BAL: Balanced /AES: AES/EBU /COAX: Coaxial

❷ 録音ファイル表示

- "Preset Setting"の"10 Rec Format"を表示します。
- MP3 / WAV

❸ 録音方式表示

- "Preset Setting"の"10 Rec Format"を表示します。
- MP3: ビットレート /WAV: 量子化ビット数

❹ 録音チャンネル表示

- 現在の"Preset Setting"の"11 Rec Channel"を表示します。
- ST: Stereo /MONO: Mono(Lch) / MIX: Lch Rch Mix

❺ オートトラック表示

- 現在の"Preset Setting"の"14 Auto Track"が On の時に"ATK"を表示します。

❻ ステータス表示

- 機器の動作状態を表示します。

STOP	■
CUE	CUE
PAUSE	❚❚
AUDIBLE PAUSE	▶❚
SEARCH	◀◀▶▶
PLAY	▶
REC PAUSE	•❚❚
REC	●

❼ フォルダ名表示

- 選択したフォルダへのパスを表示します。

❽ トラック名表示

- "Preset Setting"の"14 Auto Track でオフ以外ではプログレスバーを表示します。

❾ 残り時間表示

- 選択したメディアの録音可能残時間を表示します。
- 表示形式は、"Preset Setting"の"33 Time Display"で設定できます。
- 残り時間表示として該当しない場合は、"---:--:--"を表示します。

❿ 経過時間表示

- 現在トラックの録音経過時間を表示します。
- 表示形式は、"Preset Setting"の"33 Time Display"で設定できます。

⓫ 時間/日付表示

- 録音動作中は、録音開始日時を表示します。

⓬ 録音レベルメーター

- 録音レベルを表示します。3 秒間のピークホールド付きです。

⓭ 録音モニター表示

- 録音モニターの状態を表示します。
  R.MON: 録音モニターがオンの時に表示します。

⓮ サンプリングレート表示

- 録音サンプリングレート。
- "Preset Setting"の"12 Sample Rate"を表示 します。
- Ext(AES) の場合で、サンプリングレートが非該当のときは、"EXT"を点滅表示します。

⓯ サイレントスキップ表示

- "Preset Setting"の"16 Silent Skip"が On の時に"S.S."を表示します。

⓰ タイマー表示

- "Rec Timer"または"Play Timer"の設定時に"TMR"を表示します。

⓱ リモートシリアル接続表示

- リモートシリアルコマンドの受信中に表示します。

⓲ ピッチ表示

- Pitch 設定を表示します。
- マスターキーがオンの時"M" を表示します。

⓳ トラック番号表示

- 右側は選択したメディアの総トラック数を表示し、左側は選択したトラック番号を表示します。

⓴ メディア表示

- 選択中のメディアのタイプ(SD/USB)と空き容量を表示します。
- 上側には現在選択されているメディアが設定され、先頭に"P"を表示します。
- 下側には、バックアップメディア(デュアル録音)が設定されているときは、先頭に"B"を表示します。セカンダリーメディア(リレー録音)が設定されているときは、先頭に"S"を表示します。
- 下側のメディアが空き容量がないときは、"MEDIA FULL"を表示します。
- 下側のメディアが 2000 トラックに達しているときは、"TRACK FULL"を表示します。
- 下側のメディアが書込み禁止の場合は、"WRITE LOCK"を表示します。
- "▶"は現在選択中のメディアを表します。
- メディアが"NET"の場合、空き容量は表示されません。

主な仕様

• システム	SD/USB レコーダー
• 利用可能メディア	SD/USB メモリー /USB HDD
• 再生可能フォーマット、ファイルシステム	SD、USB：FAT16/FAT32/HFS+
• 再生可能 WAV フォーマット	
拡張子	WAV、AIFF、AIF
分解能	16bit、24bit
サンプリング周波数	96、48、44.1kHz
• 再生可能 MP3 フォーマット	
拡張子	MP3
ビットレート	32～320kbps および VBR
サンプリング周波数	48、44.1kHz
• 再生可能 AAC フォーマット	
拡張子	M4A
圧縮方式	AAC-LC
ビットレート	64～320kbps および VBR
サンプリング周波数	48、44.1kHz
• チャンネル数	2(ステレオ)、1(モノラル)
• オーディオ周波数特性	20Hz～20kHz(+0.5dB/-1dB)
• S/N 比	89dB 以上 (A-Weighted)
• 全高調波歪率	0.01% 以下
• ダイナミックレンジ	106dB 以上 (24bit WAV 再生時)
• チャンネルセパレーション	–90dB 以下
• ピッチ可変幅	–16%～+16%
• Trim 調整可変幅	± 2.0dB

❑ 入力

• BALANCED ANALOG IN L/R	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
LINE セッティング	
入力レベル	+4dBu
最大入力レベル	+24dBu, +20dBu, +18dBu,
入力インピーダンス	20kΩ
• UNBALANCED ANALOG IN L/R	
タイプ	RCA 端子
入力レベル	–10dBV
最大入力レベル	+10dBV/+6dBV/+4dBV
入力インピーダンス	10kΩ
• UNBALANCED DIGITAL IN	
タイプ	RCA 端子
入力インピーダンス	75Ω
標準入力レベル	0.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(COAXIAL)
• BALANCED DIGITAL IN	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
入力インピーダンス	110Ω
標準入力レベル	3.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(AES/EBU)

❑ 出力

❑ 出力	0dBu=0.775Vrms, 0dBV=1.0Vrms
• BALANCED ANALOG OUT L/R	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
負荷インピーダンス	600 Ω以上
出力レベル	+4dBu/600 Ω負荷時
最大出力レベル	+24dBu/+20dBu/+18dBu
• UNBALANCED ANALOG OUT L/R	
タイプ	RCA 端子
負荷インピーダンス	10k Ω以上
出力レベル	–10dBV
最大出力レベル	+10dBV/+6dBV/+4dBV
• BALANCED DIGITAL OUT	
タイプ	XLR(1:GND、2:Hot、3:Cold)
出力インピーダンス	110Ω
標準出力レベル	3.0Vp-p
フォーマット	IEC-60958(AES/EBU)
• UNBALANCED DIGITAL OUT	
タイプ	RCA 端子
出力インピーダンス	75Ω
標準出力レベル	0.5Vp-p
フォーマット	IEC-60958(COAXIAL)
• HEADPHONE OUT	20mW/32Ω

❑ その他

• 最大ストレージ容量	2TB まで
• 最大ファイルサイズ	2GB
• 最大ファイル数	2000 ファイル (1 フォルダあたり)
• 最大フォルダ数	1000 フォルダ
• 最大フォルダ階層数	8(ルートディレクトリ直下)

❑ 一般

• 電源	AC100 50/60Hz (日本向けモデル)
• 消費電力	30W 0.4W(スタンバイ時)
• 環境条件	
動作温度	5～35℃
動作湿度	25～85%、結露なし
保存温度	–20～60℃

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。